

第 6 学年外国語活動学習指導案

蒲 生 町 立 蒲 生 小 学 校

平成 2 1 年 6 月 2 3 日 (火)

男子 1 6 名 女子 1 1 名 計 2 7 名

指導者 H R T 高 城 征 子

J E T 小山田 こずえ

1 単元名 友達の誕生日を知ろう

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

これまで子どもたちは、5年生の「自己紹介をしよう」「クイズ大会をしよう」などの活動を通して、JTE、ALT の話す英語が分かった喜びや、自分の知っている単語を使って表現できた喜びを味わってきている。さらに、6年生では、「アルファベットで遊ぼう」「いろいろな文字があることを知ろう」などの活動を通して、英語は世界の多くの国において公用語として話されていることを知り、英語を学ぶことで世界の国や人々とつながることができるという意義を感じてきている。

そこで本単元では、英語での月の言い方や序数に慣れ親しみ、友達の誕生日を尋ねたり自分の誕生日を答えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図る態度を育てることをねらいとしている。また、世界の祭りや行事を知り、日本や世界の文化に対する理解を深めることができる考える。

このような学習を通して、子どもたちは自分の考えを英語で表現することの楽しさや喜びを味わうことができる。さらに、英語に対する興味も広がり、積極的にコミュニケーションを楽しみながら次の活動に取り組むことができる。

(2) 指導の基本的な立場

子どもたちは、日常生活において、自分の誕生日を伝える機会はあまりないが、月や日にちを質問したり答えたりするような場面は意外と多い。しかし、月や序数の言い方は発音が難しいと感じたり、話すことに不安を覚えたりする子どもが多い。

そこで、このような子どもたちが興味を持って活動に取り組めるようにするために、導入時に場の設定を工夫する。また、自信をもたせるために、まずは聞く活動を十分に行い、スモールステップで言語習得の自然な流れに沿った活動を展開していく。その際、ゲームやスキットを効果的に取り入れ、活動への意欲を持続させながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を高める。

具体的には、導入時に語彙や基本表現を与えるのではなく、まずゲームの中で自分の誕生月や誕生日を話す場を設定し、子どもたちの興味や関心を高める。その中で子どもたちが自分の誕生日をはっきりと伝え、友達が話した誕生日を聞き取とれるようになりたいという願いを大事にしながら、次の活動へつなぐ。次に、聞く活動を中心としたゲームを行い、楽しみながら月日の言い方に十分慣れ親しませ、徐々に話す活動へ移る。その際、英語を話す場では、間違えても発音がおかしくても構わないという雰囲気を大切にする。さらに、友達や J E T、先生方の誕生日を尋ね合う活動を行うことで豊かなコミュニケーションを図らせる。また、英語ノートを用いて外国の祭りや行事に触れさせ、改めて日本の四季や文化の良さに気付かせる。

このような活動を通して、子どもたちは伝え合う楽しさや喜びを体験し、「蒲生ン！イングリッシュデー」や日常生活の中で生かしてみたいという意欲をもつものとする。

(3) 指導内容

ア 主としてコミュニケーションに関すること

(ア) 自分の生まれ月のことを紹介する活動を通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験すること。

(イ) 積極的に友達に誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりすること。

(ウ) はっきりと誕生日を言って、コミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

イ 主として言語や文化に関すること

(ア) 英語で月の言い方や序数に慣れ親しみ、自分の誕生日を英語で言おうとすること。

(イ) JET や友達と誕生日を尋ね合うなどの交流を体験し、文化に対する理解を深めること。

3 児童の実態（調査人数 27 名 5 月 29 日実施 質問紙法 重複回答あり）

「外国語活動」に関する興味関心から

(1) 英語活動はほかの教科に比べて好きですか。

ア	とても好き	(1 1)	イ	どちらかというとき好き	(1 5)
ウ	どちらかといえば嫌い	(1)	エ	とても嫌い	(0)

(2) その理由は何ですか。

ア、イに○をした人はここに書いてください。

・ ゲームが楽しいから	(1 7)	・ 外国語に親しめるから	(1)
・ 楽しいから	(8)	・ クラスがにぎやかになるから	(1)
・ 将来役に立つから	(5)	・ お母さんに披露できるから	(1)
・ 先生が楽しいから	(5)	・ たくさんのことが覚えられるから	(1)
・ 発音するのが好きだから	(3)	・ 英語に憧れがあるから	(1)
・ 外国の人と話したいから	(2)	・ 発音が上手になるから	(1)

ウ、エに○をした人はここに書いてください。いくつでもかまいません

・ 間違えたらどうしようと思うから (1)

(3) あなたは、英語塾へ通っていますか。また、以前通っていたことはありますか。

ア 今通っている。 (6)

イ 前に通っていた。 (5)

ウ 通ったことがない。 (1 6)

(4) 人と話をするのは好きですか。

ア	とても好き	(1 1)	イ	どちらかというとき好き	(1 4)
ウ	どちらかというとき嫌い	(2)	エ	とても嫌い	(0)

(5) 自分が言いたいことを、相手に上手に伝えることができますか。

- | | | | | | |
|---|---------|-----|---|----------|------|
| ア | よくできる | (4) | イ | だいたいできる | (17) |
| ウ | あまりできない | (5) | エ | ぜんぜんできない | (1) |

(6) 相手が話していることを上手に聞き取ることができますか。

- | | | | | | |
|---|---------|-----|---|---------|------|
| ア | よくできる | (4) | イ | だいたいできる | (20) |
| ウ | あまりできない | (3) | エ | 全然できない | (0) |

(7) 英語で自分の思っていることを相手に伝えられるようになりたいですか。

- | | | | | | |
|---|------|------|---|--------|-----|
| ア | なりたい | (27) | イ | なりたくない | (0) |
|---|------|------|---|--------|-----|

(8) その理由は何ですか。

- ・ たくさんの国の人と仲良くなりたいから (9)
- ・ 旅行などに行ったときに話ができるから。 (8)
- ・ 将来役に立つから (5)
- ・ 外国の人に話しかけたいから (2)
- ・ 外国の人にも自分の気持ちや話したいことを言いたいから (1)
- ・ 外国の人と英語で会話するのが夢だから (1)
- ・ 知らない国の言葉も英語を通じて覚えることができるかもしれないから (1)
- ・ 英語を使うとなんだか気持ちがいいから (1)

(9) 外国の人と交流するのは好きですか。

- | | | | | | |
|---|-------------|------|---|------------|-----|
| ア | とても好き | (20) | イ | どちらかといえば好き | (6) |
| ウ | どちらかといえばきらい | (1) | エ | とてもきらい | (0) |

本単元の活動内容に関する質問から

(10) 友達の誕生日を知りたいですか。

- | | | | | | |
|---|----|------|---|-----|-----|
| ア | はい | (22) | イ | いいえ | (5) |
|---|----|------|---|-----|-----|

(11) 何人ぐらい知っていますか。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|-----|---|------|-----|---|-------|-----|---|------|-----|
| ア | 0～5 | (8) | イ | 6～10 | (9) | ウ | 11～15 | (4) | エ | それ以上 | (6) |
|---|-----|-----|---|------|-----|---|-------|-----|---|------|-----|

(12) 数字が1～100までいえますか。

- | | | | | | |
|---|------------|-----|---|----------|------|
| ア | 順番でなくても言える | (7) | イ | 順番なら言える | (13) |
| ウ | 少しなら言える | (6) | エ | ほとんど言えない | (1) |

【考察】

「外国語活動に関する興味関心」の実態は、質問(1)の結果から比較的高いことが分かる。それは、ゲームを取り入れた授業で明るく活気があり、楽しく感じている子どもたちや、将来に向けて英語学習の必要性を感じている子どもたちが多くいるからだと考える。一方で、失敗を恐れて苦手意識をもっている子どももいる。しかしそんな子も、質問(7)では、英語を使えるようになりたいと願っている。

「本単元の活動内容に関する」実態は、質問(11)の結果から友達の誕生日を知りたい子が多いこ

とが分かった。質問(10)の結果から、仲の良い友達数人の誕生日は知っているが、それ以上に知りたいと思っていることが分かる。

本学級の子どもたちは、大変落ち着きがあり、前向きに学習に取り組もうとする素直な子どもが多い。しかし、人前で自分から進んで発表したり、意見を述べたりすることは大変苦手としている。失敗を恐れたり人前に出ると緊張してしまったりする子や、人任せにしていまいがちな子どもが多い。

そこで本単元では、楽しいゲームを通して、自然と単語や基本表現が身につくような手立てをとることを心がけ、失敗を恐れず生き生きと積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもを育てたい。

4 目標

- (1) 積極的に誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。(積極的なコミュニケーション)
- (2) 世界と日本の行事の違いに気づき知ろうとする。(異文化理解)

5 学習計画(全4時間)

時間	主な学習活動	教師の具体的な働きかけ ゲームのしかた	準備
1	1 学習のめあてを立てる。 (1) 仲間集めゲーム 月の言い方で遊ぼう。 2 月の言い方に慣れる。 (1) ミッシングゲーム(in) (2) ビンゴゲーム (in→out) 3 日本と世界の行事の違いに気付く。	同じ月の人同士集まるゲーム ・ 同じ月になっているか JTE が一人ずつ質問し確認していく。 カードを教師が読んでいき言わなかった言葉を当てるゲーム ・ 初めは順序よく読み慣れてきたらランダムに行う。 マスに数字を書かせ出てきた数字を消し縦横斜めをそろえるゲーム ・ 英語ノートの絵を見せ、日本と世界の行事の違いに気付かせる。	・ 歌のCD ・ フラッシュカード ・ 指示棒 ・ ビンゴセット ・ 英語ノート
1	1 学習のめあてを立てる。 (1) ラインナップゲーム 日にちの言い方で遊ぼう。 2 日づけの言い方に慣れる。 (1) ミッシングゲーム (in) (2) ブリッジゲーム (out) (3) 序数ゲーム (out)	4月から誕生日順に黙って並ぶゲーム ・ 数と序数の違いに気付かせる。 カードを教師が読んでいき言わなかった言葉を当てるゲーム 書かれてある文字を両端から読んでいき会ったところでじゃんけんをするゲーム ・ ブリッジゲームは勝ちにこだわり急ぎすぎないように見守る。 グループで一人三つまで数字が言え最後に 31 をいった人が負けというゲーム	・ 歌のCD ・ ブリッジゲーム用教具 ・ フラッシュカード

1	1 学習のめあてを立てる。 (1) 誕生日を尋ねたり答えたりするスキット見る。 誕生日をたずねたり答えたりしよう。 2 誕生日の尋ね方や答え方に慣れる。 (1) 誕生日カルタ(in) (2) ダウトゲーム(out) 4 誕生日を尋ねるスキットに挑戦する。	・ HRT と JTE によるスキットを見せ、子どもに分かりやすくデモンストラーションをする。 言われた月や数字のカードをとるゲーム にせもののカードを本物のように出した人を見やるゲーム ・ 事前に指導した子どもたちによるモデルスキットを示す。	・ 歌のCD ・ フラッシュカード ・ 月のカルタ ・ 数字のカルタ ・ ダウト用カード
1	1 前時の活動を振り返り,学習のめあてを確認する。 (1) リレーゲーム(out) いろいろな人に誕生日を聞いてみよう。 2 誕生日を尋ね合う。 (1) インタビューゲーム (out) ○ 友達同士誕生日を尋ね合う。 ○ 教室にいる先生方に誕生日を尋ねる。	前から順にじゃんけんをし,勝ったら会話をリレーしていくゲーム。 お互いの誕生日を尋ね合うあうゲーム ・ 表情・ジェスチャーを使って豊かな表現を楽しんでいる子を紹介する。 ・ 先生方に尋ねる際は自分と同じ誕生日の人をたくさん見つけさせる。	・ 歌のCD ・ 英語ノート ・ ぼうし

6 指導上の留意点

- (1) 第1次では、導入時に仲間作りゲームを行い、自然な会話の中で誕生月を言えるようになりたいという思いをもたせる。JTE の質問には日本語で答えてよいことを告げ無理なく取り組めるようにする。その後、2つの聞く活動中心のゲームで、月の言い方に十分に慣れ親しませる。
- (2) 第2次では、導入時にラインナップゲームを行い、誕生日を尋ね答えるという JTE との会話の中で、数と序数の言い方の違いに気付かせる。その後、聞くことを中心とするゲームから徐々に話すゲームへと広げ、日づけの言い方に慣れ親しませる。
- (3) 第3次では、HRT と JTE が楽しくデモンストラーションをして見せ、活動の見通しをもたせる。間違えてもかまわないことを伝え、恥ずかしがらずにできるよう支援する。どんどん称賛の言葉を与え子どもに自信をもたせる。また、終末には、誕生日を尋ねたり答えたりするモデルスキットを示した後に挑戦させ、次時の活動につなげる。
- (4) 第4次では、リレーゲームで尋ね方・答え方を復習した後、実際に友達と尋ね合う活動を行わせる。その際ジェスチャーや表情が大切であることを伝える。また、誕生日だけでなく挨拶やオリジナルのコミュニケーションをとっている子どもがいたら紹介し、いなければこちらからきっかけを与えより豊かな表現活動へと広げていきたい。その後教室にいる先生方の誕生日を聞く活動を行うことで、英語が通じた喜びを感じさせ、本単元の学習への達成感を味わわせる。

7 本時

(1) 積極的に,自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりしている。

(積極的なコミュニケーション)

(2) 実際(T1=HLT T2=JTE S=Student)

過程	主な学習活動 (言語材料も含めて)	時間	教師の具体的な働きかけ	
			HRT	JTE
ふれる	1 始めのあいさつをする。 T1: Hello, everyone. S: Hello, Ms. Taki and Ms. Koyamada. T2: Hello, everyone. It's time for English class. Ok! Walk around and exchange greetings. Are you ready? Let's start.	10	・楽しい時間になるように,笑顔で元気よく挨拶をする。 ・月の曲を流して,楽しい雰囲気の中で挨拶を楽しませる。 ・ペアを見つけられない子には声をかける。	・積極的にコミュニケーションをとっている子を称賛する。
	2 前時の活動を振り返りめあてを確認する。 (1) リレーゲームをする。 前から順にじゃんけんをし,勝ったら会話をリレーするゲーム。 (2) めあてを確認する。 いろいろな人に誕生日を聞いてみよう。		・自分の誕生日が言えるか確認する。 ・一列だけ立たせてやり方を説明する。	・分からない子には,ゆっくり何度も発音し自信をもたせる。 ・苦手な子のそばに行き支援する。
つかむ	3 誕生日を尋ね合う,モデルスキットを見る。 A: Hello. B: Hello. A: Please tell me. When is your birthday? B: My birthday is April twenty first. When is your birthday? A: My birthday is April eighth. B: Thank you. A: Thank you.	5	・事前に,子どもたちが普段使っている言葉を英語で伝え,表情やジェスチャーにも気をつけて会話ができるようにさせる。 ・スキットを見せた後で,良かったところを発表させ,具体的なコミュニケーションの方法に気付かせる。 ・スキットを発表した子どもたちを大いにほめる。 	

活動する	4 誕生日を尋ね合う。 (1) 友達同士でインタビューゲームをする。 When is your birthday? My birthday is ~. (2) 先生方とインタビューゲームをする。		・活動の途中で,表情やジェスチャー,相槌,聞き返しなどを使って豊かに表現している子を紹介する。 ・自分と同じ誕生月の先生をたくさん見つけてみようという声かけをする。	・一人ひとりに励ましや称賛の声をかける。 ・分からない言葉を聞かれたら答える。
振り返る	4 学習のまとめをする。 ・今日の活動を振り返る。 ・「蒲生ン！イングリッシュカード」に単元の感想を記入する。 5 終わりのあいさつをする。 T1:That's all for today. Please stand up. Goodbye, everyone. S:Goodbye, Ms. Taki and Ms.Koyamada. T2: Thank you, everyone. See you. S: See you.	5	・自分なりの振り返りができるよう観点を示す。 ・次時の活動を予告し,意欲を高めてから終わる。	・今日の良かったところや楽しく活動できていた子どもを紹介する。

これまで学習してきた言葉やジェスチャー,相槌,聞き返しなどを使って,積極的にコミュニケーションを図っている。 (観察法)



(3) 評価

積極的に,自分や相手の誕生日について尋ねたり答えたりしていたか。